

# 行政



市長の補助機関として副市長、部長などの職員を配置し、9部を設置しています。他の執行機関は、消防局、公営企業局、教育委員会、選挙管理委員会、公平委員会、監査委員、農業委員会および固定資産評価審査委員会があります。



市長 野志 克仁 Katsuhito Noshi  
副市長 梅岡 伸一郎 Shinichiro Umeoka  
副市長 西泉 彰雄 Akio Nishiizumi

# 議会



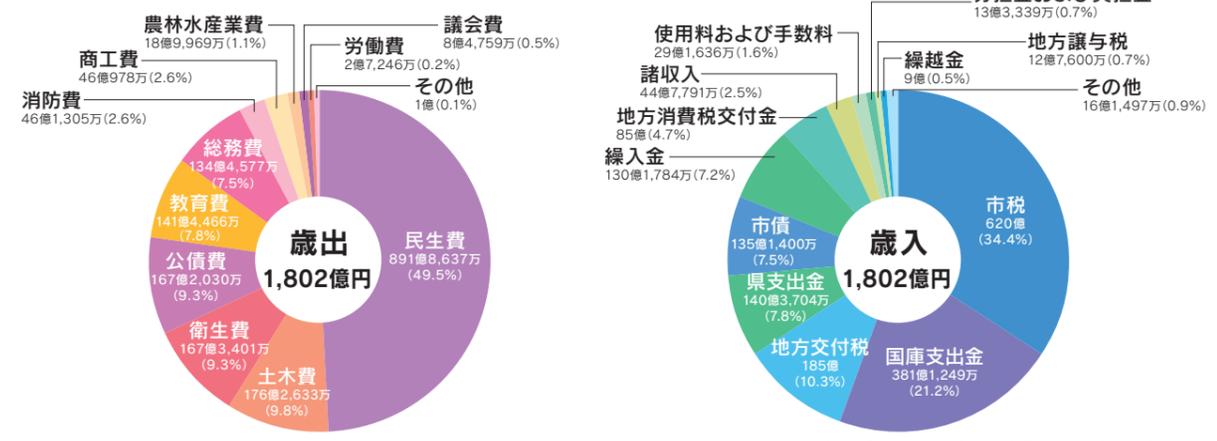
市議会の議員定数は43人、任期は4年です。議会の本会議は年4回の定例会と必要に応じて招集される臨時会があります。委員会は総務理財など6つの常任委員会と水資源対策などの特別委員会が設置され、議案などの審査や調査を行っています。



議長 雲峰 広行 Hiroyuki Kumomine  
副議長 原 俊司 Syunji Hara

# 松山市プロフィール Matsuyama City Profile

## 平成29年度 一般会計



※編数処理により個々の構成比と計欄および合計欄の数値とは一致しない場合があります。

## 市勢

### 面積と推計人口

面積	429.37km <sup>2</sup>
総人口	513,484人
人口密度	1,196人
世帯数	232,070世帯
(平成29年1月1日)	

### 自然動態

出生	2,191人
死亡	2,611人
自然増加	-970人

### 社会動態

転入等	8,528人
転出等	8,706人
社会増加	-205人
(平成28年)	
人口増加	-1,175人

男 女

## 教育・産業経済・施設設備

### 学校施設

幼稚園	44園
小学校	60校
中学校	32校
高等学校	16校
大学・短大	7校
(平成28年5月)	

### 就学人口

幼稚園	6,909人
小学校	27,221人
中学校	13,544人
高等学校	14,584人
大学・短大	17,363人
(平成28年5月)	

### 産業別就業者数

総数	234,364人
・第一次産業	8,087人
・第二次産業	42,280人
・第三次産業	174,203人
・分類不能	9,794人
(平成22年)	

### 救急車出動件数

総数	24,146件
・交通事故	2,862件
・一般負傷	3,209件
・急病	14,868件
・その他	3,207件
(平成27年)	

### 公園

総数	333
面積	389.23ha
・街区公園	207
・近隣公園	16
・地区公園	1
・総合公園	4
・その他	105
(平成28年4月1日)	

### 医療施設

総数	789
・病院	43
・診療所	490
・歯科診療所	256
(平成27年末)	

### 上水道

給水普及率	96.9%
年間総給水量	49,923,750m <sup>3</sup>
1日平均給水量	136,404m <sup>3</sup>
1人1日平均給水量	281ℓ
(平成27年度)	

### 道路事情

総数	2,133,165m
・国道延長	92,521m
・県道延長	292,619m
・市道延長	1,748,025m
市道舗装率	94.9%
(平成26年4月1日)	

# 名誉市民

社会文化、産業の進展に貢献し、その功績のあった方に対して「松山市名誉市民」の称号を贈り、これを顕彰します。〈松山市名誉市民条例〉



柳原 極堂氏 (本名 正之)  
Kyokudo Yanagihara  
慶応3年2月11日～昭和32年10月7日



景浦 稚桃氏 (本名 直孝)  
Chito Kageura  
明治8年7月12日～昭和37年8月19日



西村 清雄氏  
Sugao Nishimura  
明治4年2月13日～昭和39年12月25日



黒田 政一氏  
Masaichi Kuroda  
明治18年9月13日～昭和50年8月4日



久松 定武氏  
Sadatake Hisamatsu  
明治32年4月29日～平成7年6月7日



宇都宮 孝平氏  
Kohji Utsunomiya  
明治30年5月6日～昭和63年5月18日

# 名誉市民

60有余年の長きにわたり教育界にあって私学の振興に努め、社会教育・青少年教育に献身。地域社会の進展に著しく貢献された。(昭和37年3月26日授与)

松山市長として3期(12年)にわたり、石手川ダムや市民会館の建設をはじめ、生活環境、教育、福祉施設の整備に尽力。市政の進展と市民福祉の増進に努められ、多大な功績を残された。(昭和52年10月3日授与)

# 特別名誉市民

親善そのほかの目的で市の賓客として来訪した外国の方、または松山市に移住していた外国の方で、市の産業の振興や社会福祉の増進、学術や芸術など文化の進展に功績のあった方に対して「特別名誉市民」の称号を贈り、これを顕彰します。〈松山市名誉市民条例〉

- エドウィン・O・ライシャワー**  
Edwin O. Reischauer 昭和38年3月14日授与  
駐日アメリカ大使 (U.S.A)
- ルーシー・メープル・フランシス**  
R. Mabel Francis 昭和40年6月28日授与  
(U.S.A)
- オイゲン・カイテル**  
Dr. Jur Eugen Keidel 昭和52年10月19日授与  
西ドイツ・フライブルク市長 (W. GERMANY)
- マイケル・ウィルフォード**  
Sir Michael Wilford 昭和53年4月25日授与  
駐日イギリス大使 (ENGLAND)
- ハビエル・イグナシオ・オレア・ムニョス**  
Xavier Olea 昭和54年9月13日授与  
駐日メキシコ大使 (MEXICO)
- ヴァージニア・ミュラー**  
Virginia S. Mueller 昭和56年4月2日授与  
松山サクラメント姉妹都市協会会長 (U.S.A)
- ジャクソン・ファウストマン**  
Dr. Jackson Faustman 昭和56年4月2日授与  
サクラメント親善使節団団長 (U.S.A)
- ヒュー・コータッチ**  
Sir Hugh Cortazzi 昭和56年12月7日授与  
駐日イギリス大使 (ENGLAND)

- ジェームス・プリムソル**  
Sir James Plimsoll 昭和56年12月22日授与  
駐日オーストラリア大使 (AUSTRALIA)
- カズオ・Z・ニノミヤ**  
Kazuo Z. Ninomiya 昭和57年1月4日授与  
カリフォルニア州立大学サクラメント校教授 松山サクラメント姉妹都市協会会長(U.S.A)
- アン・N・ルーティン**  
Anne N. Rudin 昭和59年4月2日授与  
アメリカ・サクラメント市長 (U.S.A)
- セルジオ・ゴンザレス・ガルベス**  
Sergio Gonzalez Galbez 昭和59年12月20日授与  
駐日メキシコ大使 (MEXICO)
- Dr. ユーリス・ロルフ・ベーム**  
Dr. Jur Rolf Bohme 昭和60年4月17日授与  
ドイツ・フライブルク市長 (GERMANY)
- グスタフ・シュミート**  
Gustav Smud 昭和60年7月4日授与  
駐日チェコスロバキア大使 (CZECHO-SLOVAKIA)
- レイモンド・エンドレス**  
Dr. Raymond J. Endres 昭和62年4月1日授与  
松山サクラメント姉妹都市協会会長 (U.S.A)
- フランク・ジョン・コーティ**  
Frank John Corti 平成元年4月5日授与  
松山サクラメント姉妹都市協会会長 (U.S.A)

- ジョージ・S・オキ**  
George S. Oki 平成元年4月5日授与  
松山サクラメント姉妹都市協会会長 (U.S.A)
- ジョー・サーナー・Jr**  
Joe Serna, Jr 平成7年11月17日授与  
アメリカ・サクラメント市長 (U.S.A)
- ラルフ・T・スギモト・Jr**  
Ralph T. Sugimoto, Jr 平成8年5月22日授与  
松山サクラメント姉妹都市協会会長 (U.S.A)
- Dr. ティーター・サロモン**  
Dr. Dieter Salomon 平成15年10月27日授与  
ドイツ・フライブルク市長 (GERMANY)
- ヘザー・ファーゴ**  
Heather Fargo 平成16年11月20日授与  
アメリカ・サクラメント市長 (U.S.A)
- ヘルマン・ファン＝ロンパイ**  
Herman Van Rompuy 平成25年11月18日授与  
欧州理事会議長 (EU)
- 郝 龍斌**  
Dr. Hsu Lung-pin 平成26年10月13日授与  
台湾・台北市長 (Taiwan)
- 孔 在光**  
Kong, Jae-kwang 平成28年8月12日授与  
韓国・平澤市長 (KOREA)

# 市栄誉賞

松山市のイメージアップや公益に多大なご尽力をいただいた方に対して「市栄誉賞」の称号を贈り、これを顕彰します。



和田 茂樹氏  
Shigeki Wada  
明治44年4月12日～平成20年4月29日



千葉 茂氏  
Shigeru Chiba  
大正8年5月10日～平成14年12月9日



天野 祐吉氏  
Yukichi Amano  
昭和8年4月27日～平成25年10月20日

子規記念博物館初代館長、愛媛大学名誉教授。教育者・研究者として郷土の文化振興に寄与。正岡子規の研究を通じて、短詩型文学の発展に努めた。子規の野球殿堂入りにも尽力された。(平成14年7月12日授与)

元プロ野球選手・野球評論家。名二塁手として巨人軍の第1・第2黄金期を築いた。近鉄監督も務め、昭和55年に野球殿堂入り。オールスターゲームの松山誘致に尽力された。(平成14年7月12日授与)

コラムニスト。平成14年11月子規記念博物館館長に就任、「道後寄席」の実施など親しみやすい博物館づくりに尽力。また「ことばのちから事業」など本市の魅力向上事業に多大な貢献をされた。(平成26年4月21日授与)